

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-01-01
事務事業名	交通安全啓発事業		根拠法令・要綱等 交通安全対策基本法
事業開始年度	昭和46年～		
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 市民課
	中項目 基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり	職・氏名 生活安全係長 初治 慎一
	小項目 施策	交通安全意識の高揚	電話 0869-64-1876

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	子ども及び高齢者を重点的に、道路を通行する歩行者
目的 (何のために)	正しい交通ルールの実践と交通マナーの向上による交通事故防止のため、交通安全意識の高揚を図る。
行政活動 (どのような方法で)	交通安全啓発並びに幼児から高齢者まで、年齢の段階に応じた交通安全教育を推進する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	高齢者の交通事故割合件数が高いため、高齢者の交通安全意識の高揚

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	街頭啓発活動		回	23	24	24
	交通安全教室		回	25	28	26
	交通安全教室参加者		人	1,671	1,792	2,142
	法令講習会参加者		人	110	258	219
	事業費					
	直接事業費		千円	862	734	686
	人件費		千円	7,539	7,603	7,789
	事業費計			8,401	8,337	8,475
	財源		千円			
国県支出金						
受益者負担						
市一般財源			8,401	8,337	8,475	
必要人員		人	0.88	0.92	1.66	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	街頭啓発活動		説明	春・秋の交通安全運動等の重点目標に沿った交通安全啓発を実施		
	結果指標量		回	23	24	24
	対前年比		%	-	104.3%	100.0%
	活動コスト		円	2,651,978	3,505,076	4,156,071
	単位当たりコスト		円	115,303	146,045	173,170
	交通安全教室		説明	正しい交通ルールの実践による交通安全教室		
	結果指標量		回	25	28	26
	対前年比		%	-	112.0%	92.9%
	活動コスト		円	4,598,400	3,221,084	1,302,406
単位当たりコスト		円	183,936	115,039	50,093	

事業の成果			
成果指標名	交通安全教室高齢者受講割合	式又は説明	(交通安全教室高齢者参加者 / 交通安全教室参加者) × 100
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	2.00	14.00	5.65
対前年比	700.00%		40.36%
到達目標値	15.00	到達目標年度	平成23年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価 <A-E>	A
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	交通安全対策には、交通安全施設整備とあわせて、街頭啓発や交通安全教室の実施による交通安全意識の高揚は不可欠である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	効率性評価 <A-E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	警察等関係機関との連携を強化することにより、効果的な交通安全教室及び啓発活動を実施し、コスト削減を図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	有効性評価 <A-E>	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が当たらない		
手	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している	有効性評価 <A-E>	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価 <A-E>	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は目標年度に達成できそうである		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A-E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	効果は向上しているが、高齢者の事故件数割合は依然として高いため、交通安全教室の実施回数・参加者数の増加に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 25	結果指標量 29
成果指標量	16.00	

総合評価		評価区分 <A-E>	A
交通事故の直接効果を求めることは困難であるが、市民の交通安全意識の高揚には不可欠であり、引き続き実施するべき事業である。			

平成21年度以降の方向性		平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果